

建築構造（共通科目）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	3	学科・学年	建築インテリア科 2年
使用教科書	建築構造（実教出版）				
副教材等	建築資料集、建築構造演習ノート、担当教員が配布するプリント				

「建築構造」はどんな科目？

建築空間において安全・快適に過ごせるように、また、建築物がどのようになりたっているか、どのように発達してきたのかを学びます。（鉄骨構造・鉄筋コンクリート構造）

「建築構造」の学習の特徴は？

建築物の骨組みを図に描いたり、専門的な用語を覚えたり、実際の現場での話などを担当の教員を通じて学びます。

「建築構造」で大切なこと（留意点）は？

卒業後に現場で安全に作業できるように建築物のしくみを理解し、また、設計や施工管理の基本的な方法なども理解することが大切です。少なくとも専門用語を覚える事は必要不可欠となります。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容	主な学習活動（指導内容）
1 学 期	4	・鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な鉄筋コンクリートを教材に構造の特徴や形式を学習する。 ・基本的な材料について学習する。 ・鉄筋コンクリート建築物の基礎について学習する。 ・構成する部材や配筋、定着、かぶりについて学習する。
	5	・鉄筋とコンクリートについて 〈中間テスト〉	
	6	・鉄筋コンクリート構造の基礎について	
	7	・鉄筋コンクリート構造の主体構造について 〈期末テスト〉	
2 学 期	9	・鉄筋コンクリートの仕上げについて ・壁式構造とプレストレストコンクリート構造について 〈中間テスト〉	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート構造の外壁や内装の仕上げを学習する。 ・壁式構造とその他の構造について学習する。 ・身近な鋼構造を教材に特徴や形式を学習する。 ・基本的な材料について学習する。 ・接合方法について学習する。 ・鋼構造の基礎について学習する。
	10	・鋼構造の特徴と構造形式 〈期末テスト〉	
	11	・鋼と鋼材 ・鋼材の接合	
	12	・鋼構造の基礎	
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼構造の骨組み ・鋼構造の仕上げ ・軽量鋼構造と鋼管構造 ・鉄骨鉄筋コンクリート構造 	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼構造の骨組みについて学習する。 ・鋼構造の仕上げを学習する。 ・軽量鋼構造と鋼管構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造について学習する。
	2		
	3		

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	建築構造に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備 ・課題提出 ・授業態度 ・出席状況
思考・判断・表現	建築構造に関する諸問題の解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その思考を的確に表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント記述 ・発表内容
技能	建築構造の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理する能力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容 ・プリント記述 ・テスト記述
知識・理解	建築構造の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、工業の発展と環境との調和の取れたあり方や現代社会における建築構造の意義や役割を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト内容 ・小テスト内容 ・発表内容

評価の方法は、小テスト・定期考査・行動観察で行います。
1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の授業の取組(欠席しない、忘れ物をしない、積極的に取り組むなど)を大切にすること。 ・ 授業で使ったプリントは、大切にファイリングして保管しておくこと。 ・ 日頃から興味を持って建築物を観察すること。
